

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和２年度・第３回）議事概要

日 時 令和２年１０月１４日（水）１４：００～１５：２５

場 所 中央公民館 ２０３、２０４ 学習室

出席者 仁川まちづくり協議会 綿 昭人会長
宝塚市高司小学校区まちづくり協議会 川島 昭会長
宝塚市良元地区まちづくり協議会 中 義昭会長
宝塚市光明地域まちづくり協議会 田村 幸雄会長
宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会 加藤 富三会長
宝塚市西山まちづくり協議会 久保田 洋一会長
まちづくり協議会コミュニティ末広 豊田 茂男代表
宝塚第一小学校区まちづくり協議会 中谷 修会長
逆瀬台小学校区まちづくり協議会 石谷 清明会長
宝塚市すみれが丘小学校区まちづくり協議会 川上 操代表
宝塚小学校区まちづくり協議会 喜多 毅会長
売布小学校区まちづくり協議会 笹田 光治会長
小浜小学校区まちづくり協議会 藤本 真砂子会長
宝塚市美座地域まちづくり協議会 梅村 諭代表
安倉地区まちづくり協議会 岡本 康夫会長
宝塚市長尾地区まちづくり協議会 （代理）阪上 良彦副会長
中山台コミュニティ 畑中 康治会長
宝塚市山本山手地区まちづくり協議会 北川 和人代表
宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会 松原 孝彦会長
宝塚市西谷地区まちづくり協議会 二井 久和会長
市民交流部 上田部長、藤本室長
市民協働推進課 吉岡課長、岡田係長 他
宝塚ＮＰＯセンター 馬越

議事概要（要旨）

- １ 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和２年度・第２回）議事概要の確認
各まちづくり協議会代表者により、上記議事概要の確認が行われ、ホームページへの公開が承認された。
- ２ 地域活動についての意見交換
 - （１）各まちづくり協議会代表者から、地域ごとのまちづくり計画の具体的な取り組みの実施や、コロナ禍で工夫していることや困っていることなどについて報告があった。
概要については、以下のとおり。
【長尾台】
ア 今のところ、まちづくり計画については進んでいない。コロナ禍における会議や行事の開催については、行政からもらっている資料を見ると、開催者に責任が及ぶと読み取れるので尻込みしている。年末くらいまでは動けないと考えている。
イ １０／１に初めて運営委員会を行った。また、その間に臨時役員会を２回実施した。
【美座】
ア 世間では収束に向かっている雰囲気だが、どうしても参加者に高齢者が多いため、慎重にならざるを得ない。月１回役員会をやっているが、その時の状況を見ながら検討していこうと話している。

- イ 今のところ、河川敷の草刈りや出前児童館を一部実施しているが、他はできていない状況である。
- ウ 青少年課からの委託事業の放課後教室もストップしている。青少年課から再開に向けてという文書も来ており、再開しないといけない雰囲気を感じるが、どうしても心配してしまう。

【良元】

- ア まちづくり計画の6つの重要項目の見直しと具体策をどうするかを考えている。実際に計画を進めていく際、コロナのことを踏まえてどのように進めていくべきかを考えている。
- イ 第1ブロックで、来年以降も含めて仕事のやり方を変える。つまり、自分たちの活動についても、オンライン等を使って複合型の活動ができれば幅が広がるのではないかと考えている。ハイブリッド型のイベントや会議をできればよいという意見が出てきている。第1地区のネットワーク会議が今年は中止になっているが、2月末頃にハイブリッド型で再開したいと考えている。どのような器具を使ってどのようにやれば効果的かを考えている。

【光明】

- ア これまでは、年3回、子どもたちと一緒にクッキングの会に取り組んできたが、今年はこれまで実施できていなかった。しかし、10月から取り組もうとなった。ただ、子どもたちと一緒に取り組むことはできないので、親が作り子どもたちが食べるという形になった。そして、食べる際も、円になって顔を合わせて食べるのではなく、外を見ながら食べてもらう形を勧めたとのことである。何とか実施できたということが第一歩であると考えている。
- イ 年明けに毎年実施しているとんど祭りをどうするか考えている。他のまち協ではどのようにするのか教えてほしい。

【小浜】

- ア 小学校のランチルームで活動している。会議等もランチルームで実施している。各部の活動も密を避けながら9月から再開している。
- イ 11/29は、防災避難訓練を実施する予定。
- ウ Zoom会議ができるようにパソコンを購入した。

【仁川】

- ア 例年1月にとんど焼きを実施している。これが好評であるが、今年度については開催するか検討中である。今年はコロナで全面的に実施することは難しいと考えている。実施するかしないか迷っている。実施するなら縮小してとんどだけをやるという方法もあるが、それだけでは寂しい気もする。他のまち協がどうするのか聞きたい。

【中山台】

- ア 7月から定例的な会議を毎月実施している。3密を防ぐために、中山台コミュニティセンターの多目的ホールでマイクを使って実施している。
- イ 来年1月くらいまでの大きな行事は全て中止としている。コミュニティセンターの利用については、カラオケと料理教室は禁止している。他の教室は、三密を避けながら少しずつスタートしている。実際、今月の常任評議会も行事がないので決めることがないため、情報交換を実施している状況。
- ウ 今月号の中山台コミュニティの広報誌で、小学校統合について1年間延期となった旨記載している。

【宝塚】

- ア まちづくり計画について、実施予定だった3月のワークショップについて、9月に実施した。
- イ まちづくり計画について具体的にどう進めるのかについての打ち合わせが10月から始まる。

【未成】

- ア とんどについては、学校の運動場の使用許可がおりれば実施予定。ぜんざいを会場で提供することはやめ、持って帰ることができる形にする。学校の許可がおりたまち協があれば連絡してほしい。
- イ 防災関係については、コロナ禍において避難所のレイアウトについて検討しているところである。
- ウ まちづくりルールを作成するための勉強会を11月に実施する予定。
- エ 福祉に関わる取組について、地域福祉ネットワーク会議で実施予定。
- オ 寺子屋については、11月から実施予定。
- カ いずれにしても、何もやらないのではなく、できることからやっっていこうとしている。

【長尾】

- ア まちづくり計画について、6つの部会でそれぞれで進めていくという形である。
- イ 防災部会においては、地区防災計画をまず作る。長尾は小学校が3校あるため、地区防災計画も3つ作らないといけないとなっている。
- ウ 行事については基本的に中止となっている。特に市役所がらみの行事が中止となっている。中止は分かるが、中止の前段階で、実施するための提案が事前にあってしかるべきだと思う。

【西谷】

- ア イベントはすべて中止している。とんども中止している。ただ、西谷の場合各地区で小さなとんどを実施しているので、全体のとんどが無くなっても、地区ごとのとんどは実施されると思う。
- イ コロナで収穫祭等も無くなり、秋祭りも無くなった。上佐曾利のダリア園は非常に人が増えている。また、黒豆の収穫も通常通り行われている。
- ウ まちづくり計画について委員会で議論を進めている。

【すみれ】

- ア 会議は、6月から役員会、運営委員会を続けている。密にならないように実施している。
- イ 幹事会については、50人近くになるので、会議室とリモートを併用して実施した。ちゃんと意見交換できたか分からないが、この併用で実施する形でもなんとか実施できると思った。
- ウ 元の状態に戻りつつあるが、密を避けるということは守りながら進めていきたい。
- エ 役員会はリモートで実施している。

【安倉】

- ア 役員会は月1回やらせてもらっているが、大きなイベントは中止している。
- イ 10/17に親子でさつまいもを収穫するイベントを開催することとしている。
- ウ コミュニティのサロンは9月から開催している。参加者は少ないが、顔の見える関係を作っていけたらと思っている。
- エ 防災については、体育館やグラウンドを借りてという形はなかなかできないので、勉強会ができないか模索している。

【西山】

- ア 運営委員会は毎月やっている。
- イ 西山創造会議・ネットワーク会議・学校園安全対策委員会というのがある。11/29に予定している。
- ウ まちづくり計画の印刷については、3つほどの自治会が全戸配布するとなっているため、今のところ、2100部ほど印刷しようとしている。
- エ 高齢の方の健康維持のため、介護予防体操教室や100歳体操などを距離を保った形で再開している。
- オ 学校園を見て回ることを考えている。
- カ 西山小学校のグラウンド利用は再開されているので、グラウンドゴルフなども再開する。

キ 西山っ子遊ぼう会は12月末まで中止。

【高司】

ア 運営会議はずっと行っている。例年小学校を使って実施していた文化祭の実施が難しくなったため、新しい企画として、地域の公園を使って子ども対象の輪投げやボウリングなど4箇所を実施することになった。100人規模で申込制にしたが、16人くらいしか申し込みがなかった。そのため、もう一度実行委員会を実施して、子ども向けで実施する旨を記載したビラを配ったところ、子どもが50人、大人が20人程度参加することとなった。野外で実施するので、ある程度三密を防げるのではと思う。また、当日の健康状態についてチェック項目を記載した用紙を作る。11月21日（土）に実施予定としている。何とかできることをできる範囲で実施したいと考えて計画をしていきつつある。

【売布】

ア 会議は、部会も含めてできるだけ実施するようにしている。まちづくり計画に基づいて来年度の行事をどうするかを検討をしている。9月に一度、LINE防災訓練というのを行った。

【宝塚第一】

ア 会議は通常通り開催している。

イ 小規模行事については部会中心に活動を進めている。メインとしては、宝梅ハウスを防災拠点にしようかということについて、分科会を作り検討している。最終的には届出避難所にしようと考えている。ただ、実際に届出避難所を利用されているところは少ないとのこと。届出避難所については、責任がすべてまち協に来ることである。

ウ コロナ禍の対策を考える勉強会を実施している。

エ 今回、11/7に子どもたちを楽しませるために、トレジャーハンターのまちの歴史探索という楽しみを含んだ内容で実施しようと考えている。相当な人数になるので、マスク、消毒、検温、少人数グループでの実施等対策を行って実施予定。

【末広】

ア 広報部会は月に1回集まって実施している。

イ 地区の防災計画については、兵庫県から補助金を得たので、正式には9月からということをやっている。

【ゆずり葉】

ア 8/2に第1回の役員会を開催した。内容はまちづくり計画に沿った活動団体への支援という内容であった。また、コロナ禍のステイホームの影響で子どもたちや高齢者が引きこもり状態と聞いている。皆で見守り強化しないといけないということで、10/4に福祉ネットワーク会議を開催した。形式としてはワークショップの形。会議室は100人のキャパであったが、50人ほどの参加者であった。コロナ対策のため、検温の実施、マスク着用、換気、席の間隔を開けるなどして実施したが、いざグループワークに入ると盛り上がってしまい、また、マスクをしているので声が聞こえにくいため、どんどん席の間隔がせばまってきた。このような形になってしまったため、三密を避けることについて現在反省をしているところである。

イ 今後、まちづくり計画に従って、見守りについては何回かワークショップを実施していく。

ウ 防災や安全安心のまちづくりに関してもワークショップを実施していきたいと考えている。

エ インフラ関係については、直接市の担当の方に話をしていく。また、内容によってはまち協同士の連携なども取っていきながら進めていきたいと考えている。

【山本山手】

ア 一番多くの方が参加する会議は2か月に1回あるが、今のところメール開催としている。本部会議は1か月に1回あるが、集まって開催している。

イ お祭りや行事については、とんどについて、協議の上、営利目的ではないこと、ま

た、健康な体が大事であり来年も再来年もまちの集まりがあるということを踏まえて今年何をすべきかという観点から、とんどで焼くことはするが、お餅をついたり、豚汁配ったりすることはしない。また、誰が来たかを管理するために兵庫県のコロナ追跡システムも利用しながら実施する。

(2) 意見交換

意見交換の概要は以下のとおり。

- ア 一部行事を再開しているところもあるが、注意しないといけないのは、ソーシャルディスタンス、三密防止、検温実施という条件を満たせば絶対防げるということではない。行事をするなというわけではないが、注意は必要であるということをお願いしたい。
- イ 年1回学校は避難訓練をやるが、避難訓練に合わせて地域と一緒に防災訓練をやっているところはあるか。今回、学校側から地域と一緒に実施せず、学校側は学校側で実施したいという提案があった。そのようなまちづくり協議会はあるか。
- ウ うちでは、学校の方から依頼があって実施している。ただ、何十人も参加する形ではない。
- エ うちでは、先に児童の避難訓練を実施し、その後、安全対策とPTAと一緒に避難訓練しながらそこで先生の話聞くという流れである。
- オ それぞれの学校の考え方で違うのかもしれないが、児童と地域と一緒にやる部分が見送りとなってしまう、寂しいと感じている。

3 市民協働推進課からのお知らせ

以下(1)～(4)について、資料を用いるなどして周知があった。

- (1) 宝塚市協働のまちづくり推進条例の制定について
- (2) まちづくり協議会における個人情報の管理及び取り扱いについて
- (3) 市民活動促進支援事業について
- (4) 「お試し Zoom 会議」の開催について

4 その他

- (1) コロナ禍における避難所の収容世帯数の考え方について
市民協働推進課から資料を用いるなどして説明があった。
- (2) その他情報提供、ご意見
各まちづくり協議会代表者からの情報提供、ご意見については以下のとおり。
 - ア 市の指定避難所は長尾台小学校であるが、レッドゾーンであるため避難できない。なぜレッドゾーンであるかという点、宝塚市はお金がないので、側溝の泥をどける工事ができないためだということである。市に対してしっかりと申し上げないといけない。まち協代表者交流会の皆さんにも長尾台地区がこのような状態であることを理解いただきたい。
 - イ 長尾中学校の柔道の顧問の先生が逮捕されたことがコミュニティで話題になった。既に懲戒処分を受けた人がまた顧問になって事件を起こしたということに対して、教育委員会はどうなっているのかという意見があった。この件についてはどうなっているのか。再発防止をお願いしたい。
 - ウ (市) この代表者交流会の場に関係者を呼んで説明会を設けるということは想定していない。

5 今後の日程

次回日時：令和2年(2020年)11月11日(水)14:00～15:00

場 所：中央公民館 201-202 学習室